始

特276
607

豐穣の秋

292.25

大連觀光の栞

大連市

大連は往時青泥窪と稱へた一漁村であつた。西暦一千八百五十八年に於ける北支那の役に際し、英佛聯合艦隊の北京、天津を攻略するに當つて英國艦隊は一時大連灣を其の根據地となし且これを記念せんがため、大連灣の一部をヴイクトリヤ・ベーと命名せり。これ即ち遼東半島の一角大連が國際文明に接觸した濫觴と言ふべきである。次で清國政府は旅順及大連附近に軍港及砲壘を築造して防備を施したが、明治二十七、八年の日清戰役に依り、我が軍の破壞する處となり、大連附近にその敗殘の跡が偲ばるゝのである。

日清講和條約の結果關東州は一旦我帝國の領有する所となつたが獨、佛、露三國の干渉に遭ひ清國に還附することゝなつた。然るにロシアは此處に市名ダルニー（遠方の意）を附して市街の創設

市役所

埠頭全景

に着手し西歐文化を扶殖せむとしたるも、たまたま日露の國交斷絕し明治三十七年五月二十九日我國の掌中に歸したのである。

爾來ダルニー市は我國が繼承して市街の建設に當つたが翌三十八年二月十一日の佳辰をトし（大連）と改稱した。大連市の發展はまさに超スピード的な擴がりで露治時代その計畫の雄大なるを以て甚しく日本人を畏服せしめた。ダルニー市は當時僅かに四萬の人口を收容するの施設であつた。然るに現在の大連市は既に五十餘萬を算し市街は軈て人口百萬を抱擁するに至るべく各般の設備も整つてゐる。明治三十七年露國から繼承した行政地域は舊大連の半ば程で面積百二十七萬六千七百八十五坪に過ぎなかつたが事業の勃興と人口の急激な膨脹に依り市街は次第に市の郊外へ延され、現在のグレート大連の面積は、三千七百二十六萬六千百六十二坪にまで擴大した。

露西亞町波止場

重要物產取引所

滿洲資源館

戸口の膨脹は亦米國シカゴに次ぎ第二位の膨脹振であつた明治三十九年末に於ける總戸數五千三十七戸人口一萬八千八百七十三人、內邦人の戸數僅かに一千九百九十三戸、人口八千二百四十八人でスタートを切つたものが、大連市政の施行された大正四年末には早くも七萬七千餘に達し遂に現在の五十萬市民を數へるに至つたのである。大連市政は大正四年十月一日特別市制が施行され大連市役所が設置されたのである。而して本市政は內地都市に施行せらるゝものと何等の差異なく、我が外地中唯一の自治制として誇り得るものである。市會議員四十名中三十三名は日本人有權者の公選に係り、七名は學識德望資產のある滿洲國人が官選せられて居る。斯くして新興滿洲國の關門に於ける海港大連の

姿は、世界第一の稱ある「ロスアンゼルス」にも優ると稱せられ、陸の王者として文化都市を誇り、海の覇者として世界に君臨せむとする、伸びゆく大連市の明日は朗かにして且多望である。

大豆野積保管

豆粕荷卸作業

◎訪ぬべき史蹟と名所

惟ふに我が大連は滿洲の縮圖でありその大綱である。大連を知ることに依つて滿洲の事情が闡明され把握され滿洲近代發展の過去及將來を語り得るであらう。また一たび足を新興文化の此處國際都市の大連に入る人をして幾多の好資料と異國情緒に醉はしむるであらう。

又風光の明媚なる天惠と、古代滿洲遺蹟の隨所に存置さるゝ關東州の旅行は、純觀光的見地からしても滿洲旅行中最も興味深く、收獲の優なるものと云ふべく、關東

州の觀光は先づ第一日は大連市の觀光を盡し第二日を旅順の戰跡訪問と探勝に、第三日を金州古城の視察に、更に普蘭店迄旅程を延ばすならば州内を縱斷し得て興味更に深きものがあらう。

◎埠　頭

滿蒙は勿論歐亞に通ずる大陸の表立關である大連は一里餘の防波堤に抱擁された水面積九十四萬坪、繫船岸壁の全長一萬五千餘呎、水深二十四呎より四十呎に及ぶ、埠頭の案内は埠頭事務所所屬の案内者に依頼し事務所ルーフより港内及大連市街を俯瞰し詳細なる說明を聽取すれば港大連の全貌が判る。

◎甘井子埠頭

埠頭の北方對岸甘井子に一時

豆粕の輸出

苦力生活狀態

間千八百瓲の船積能力を有する甘井子埠頭がある。露西亞町波止場から船便によるか常盤橋交通會社バス待合所よりバスを利用すれば三十分にして達する。滿鐵が石炭を海外に送り出す爲に設計したもので東洋一を誇つてゐる。

◎油　房

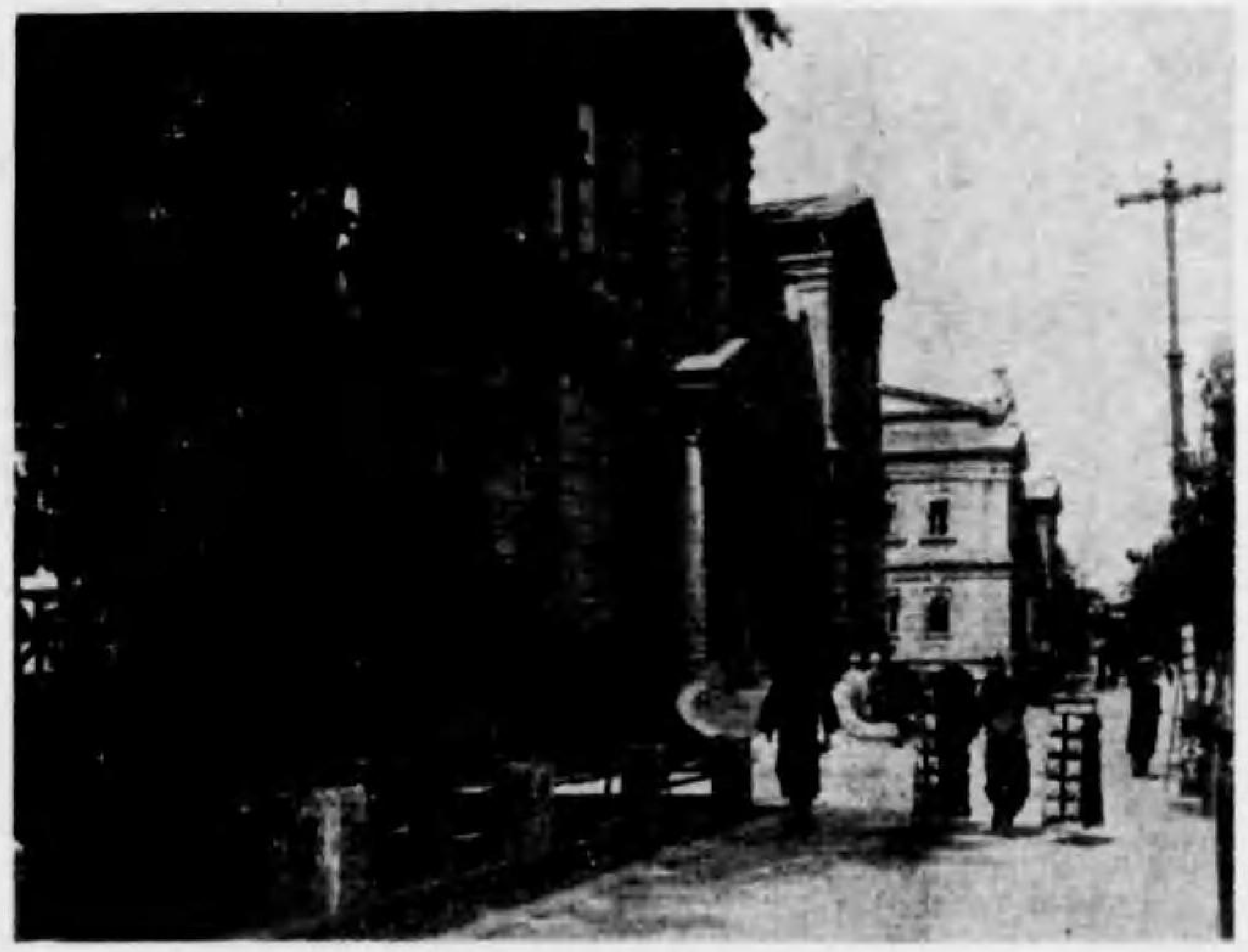
油房は主に市內の東部と軍用地濱町一帶の地と西崗子とに存在し共數六十軒にして滿洲農産物の大宗たる大豆から豆油と豆粕とを製出する工場である。

◎碧山華工收容所

市內に於ける地方的色彩の豐な社會施設の一つであつて、福昌華工會社の經營するところ、大連の埠頭で働く苦力の爲めの合宿所で一萬五千人を收容し得る宿舍街である。諸般の施設が行届いて居り、彼等勞働者の安樂鄕となつてゐる。

滿洲國勞働者に對する社會施設として八幡町に人力車夫收容所があり、嶺前屯及沙河口に馬車夫收容所がある。何れも株式組織で前者は百四十數臺の車夫及その家族を收容し後者は九百臺の車夫及その家族を收容してゐるが、何れも社會勞働者問題の研究から視察者の見逃し得ないところ

甘井子



滿鐵本社

である。

◎滿鐵本社

滿洲に於ける文化及資源開發の大なる使命を負ひ、又日本民族の大陸發展の開拓者として明治四十一年四月一日の創立以來その事業の進展に努力してゐる。事業として鐵道、埠頭、倉庫、工場、炭礦、旅館をもち更に滿洲國有鐵道の委任經營をなし、全滿の鐵道及其の附帶事業に鋭意經營を行つてゐる。

◎滿洲資源館

滿鐵會社の經營で滿蒙資源開發の寶庫、滿蒙の鑛産、林産、農産、畜産、及これらの加工品竝に鐵道港灣、礦山等に關する標本、模型、圖表等を陳列して無料で一般の觀覽に供してゐるから滿蒙資源の輪廓を把握するに最も都合よく、視察者の見逃し得ない所である。尙滿蒙の資源開發上、滿蒙の地質調査に偉大なる功績を遺しつゝある地質調査所は、同じく

滿鐵會社の經營で同館の樓上がそれである。

滿洲資源館の南一町半許りにして工業博物館がある。

◎工業博物館

滿洲技術協會の經營で工業、滿蒙、交通の三部門に分れ、滿洲新興工業の基礎となるべき各種の陳列品あり滿洲工業界の概念を得るに適切である。

◎大廣場

舊市街の中心をなし、一萬餘坪の廣場を繞つて市役所、税務署、ヤマトホテル、大連警察署、朝鮮銀行支店、遞信局、正金銀行支店、東洋拓殖支店、英國領事館等の宏壯な建物が竝び事實上大連の政治經濟社交の中心地たる觀がある。中央に初代關東都督大島大將の銅像があり、花壇あり、櫻樹あり、藤棚あり、市民逍遙の好適地である。

大連市役所廳舍とヤマトホテルの間近に毅然とし

大廣場

大連神社

連鎖街

常盤橋

て聳立する建物は大連醫院で、更にその後方南山麓の下に、樹木の鬱蒼たるは大連神社の境內である。この西に連る境內は西本願寺の堂宇、之に隣接して東本願寺の建物があり、そのすぐ上若草山の頂にある白堊館は關東局氣象臺である。

大廣場を三號系電車に乘り西行すれば間もなく西廣場に至り更に西行すれば大連交通の中樞たる常盤橋に至る。その左方には大連市民の臺所である市設常盤橋市場及三越百貨店があり、右方一帶の商館を大連名物の一つ連鎖商店街と云ふ。左方高臺を望めば中央公園の樹林が茂りその丘上には忠靈塔を拜する。右方連鎖商店街に續き市民行樂の遊園地たる小村公園がある。滿鐵の恩人故小村壽太郎侯の座像が設立されてゐる。電車に依り急坂を登れば南滿洲工業專門學校と中央試驗所關東保健所がある。

忠靈塔

◎中央公園

俗稱虎公園とも云ひ、北公園と稱せられたが、市の經營に移つてから中央公園と改稱した、園內

面積三十六萬坪、アカシヤの巨木鬱蒼として茂り、樹間を縫ふ大山の通路は坦々砥の如く、季節々々の百花潦亂し、池塘は小汀曲浦に風致を添え、南花園一帶の綠蔭に、茶寮に暫しの休憩やら、遊覽道路の山の茶屋から市街を眺望するも一興である。とにかく觀光客の見逭すべからざる場所の一つである。

◎忠靈塔

中央公園內の高臺に聳立する忠靈塔は、日露戰役に於ける蓋平（以南旅順を除く）の戰死者將兵六千二十九柱の遺灰並に滿洲事變、支那事變戰死者の遺骨を合祀するところである。每年五月と九月とに盛大なる招魂祭が行はるゝのほか不斷市民修養の靈場である。大連に足を入れた者は誰でも第一に參拜すべき處である。

中央公園

◎關東州廳

長者町廣場に面して屹然聳立する宏壯なる白亞の殿堂は關東州に於ける最高行政機關たる關東州廳である。昭和十二年旅順より移轉し來つた。附近には大連地方法院、赤十字病院等の堂々たる建築が並び建てられて、西部大連の中心地區たらんとしてゐる。

浪速町

◎中央試驗所

滿鐵會社の經營にかゝり滿洲の富源開發と夫等資源を科學的に研究して福利の增進を圖る目的の爲めに存する一の科學實驗所である。

◎大連運動場

總面積一萬坪、工費三十二萬圓、五萬人の收容力を有する模範的運動場である。

◎鐵道工場

霞町にある滿鐵會社の汽車工場で模範的の設備を有する東洋有數の大工場である。

◎星ヶ浦

大正廣場より六號系電車に依り遊園地星ヶ浦に旅情を慰むれば、此處は滿洲及北支を通じ唯一の大公園で國際人の避暑避寒地として賑ふ。大連富士の山麓十五萬坪のゴルフリンクの綠の芝生と

波間に浮ぶ數箇の繪の如き小島を配したグリーンの海との間に展開する三十三萬餘坪の星ヶ浦遊園地は、霞半島を境として東はヤマトホテルとその別莊を抱擁する曙の濱、西は旗亭星ノ家のある黃昏の濱とに別れ、共に大きく弧を描いた白沙の長汀曲浦、花によく海水浴に好く、四時行樂の別天地で滿洲隨一を誇つてゐる。

◎露天市場

歸途大正廣場より四號系電車に依り露天市場を見る。地方色の最も濃厚なるもので一名小盜兒市場と稱し盜難品などの出る市場である。下層滿洲人には又となき民衆的娛樂鄕で梨園（劇場）あり、書館（妓樓）あり、寄席見世物、奇術、口腹を充たす飲食店等あり滿洲國人の實生活に觸れて見るには格好の處である。

◎老虎灘

常盤橋から南する七號系電車に乘ればその終點である。星ヶ浦の女性的風光なるに對し此處は朴

小村公園

大連運動場

星ヶ浦

訥なる野人の男性美を偲ばしめる風趣がある、釣魚によく又旗亭あり冷風に酒杯を呼ぶも亦旅行中のこよなき慰安であらう。

視察・遊覧及 参拝行程

一般遊覧者に便するためその行程の大要をA、Bに分つと次の通りである。

大連驛

馬車

人力車

A 行程

（午前八時旅館發）滿洲資源館、工業博物館、埠頭、油房、碧山莊、大連醫院、大連神社、中央公園、忠靈塔、中央試驗所、連鎖商店街、西崗子公學堂、露天市

場（小盜兒市場）、鐵道工場、星ケ浦、大連運動場、老虎灘、大廣場（午後五時歸着）

B　行　程

（午前八時旅館發）滿洲資源館、工業博物館、電話局、大廣場、埠頭、油房、碧山莊、大連醫院、大連神社、中央公園、忠靈塔、中央試驗所、連鎖商店街、露天市場（小盜兒市場）、西崗子公學堂、鐵道工場、星ケ浦、大連運動場、老虎灘（午後五時歸着）

右は電車及一部徒歩による行程であるから時間に餘裕は少い。殊に視察箇所も多いから先づ二日間を費すならば完全に視察が出來ると思はれる。

倘左の遊覽バスを利用すればサービスガールの詳細な説明を聞いて短時間で充分視察が出來る

遊　覽　バ　ス

一、料　金　大人　一圓八十錢　小人　九十錢
一、所要時間　五時間半（午前九時半發　午後三時歸着）

表　忠　塔

一、發車場　常盤橋バス待合所

遊覽バスコース

一、コース　交通會社―山の茶屋―忠靈塔―大連神社―大廣場―日本橋―滿洲資源館―大連驛―中央試驗所―佐渡丸殉難碑―大連運動場―競馬場―星ケ浦（晝食）―大正廣場―沙河口神社―放送局―露天市場―滿鐵本社―油房―碧山莊―埠頭―大廣場―常盤橋
一、貸切料金　一臺　三十圓
一、團　體　十人以上團體取扱ひし一人一圓六十錢とす。
一、申込所　各旅館、ジャパン・ツーリスト・ビユロー
　大連都市交通會社バス係

玉の浦海岸

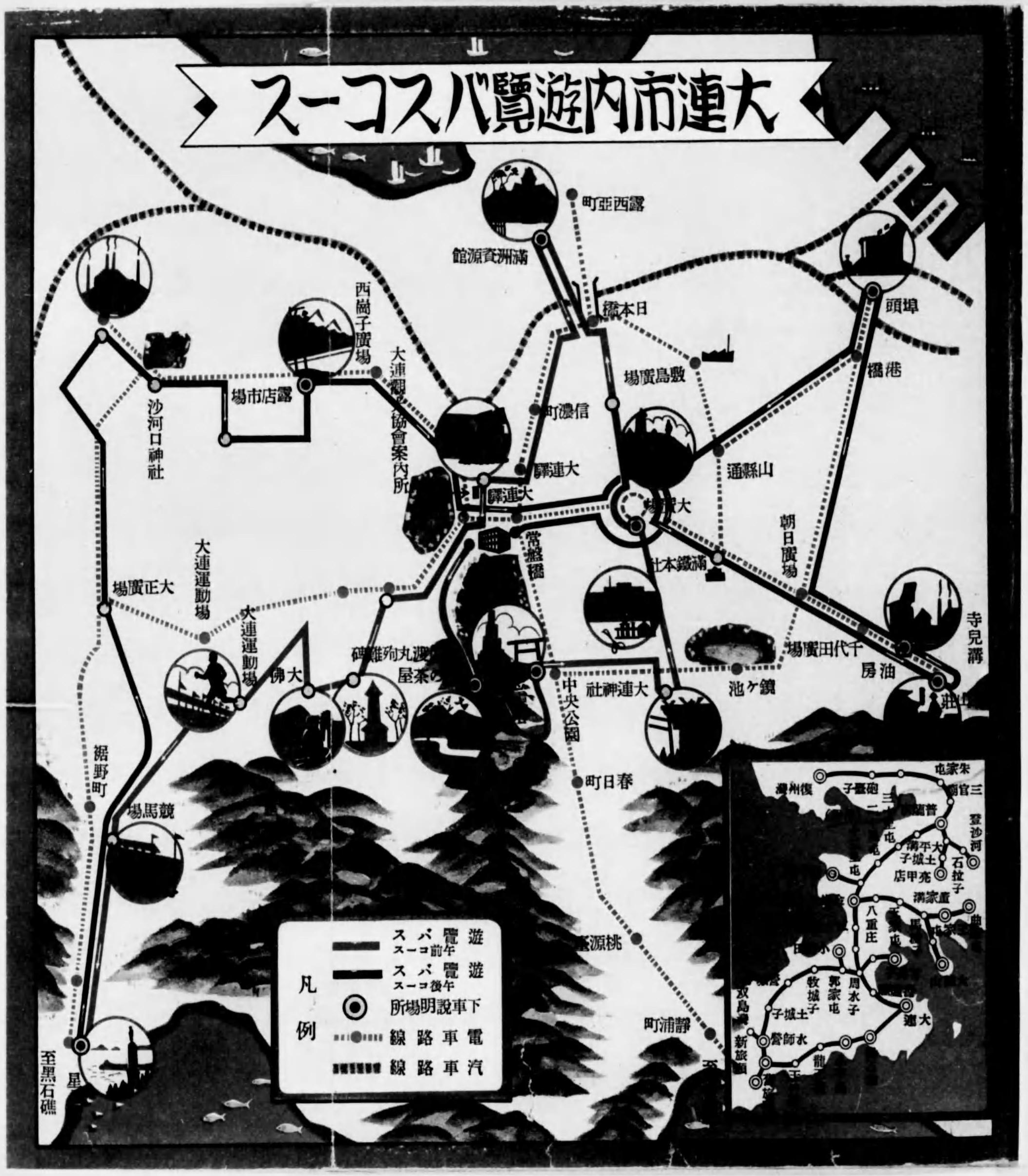
近　郊　都　市

イ、旅　順

遼東半島の腥氣徐ろに去つて茲に三十有餘年、東亞の平和は日露戰役の賜である。斯くて我等が骨肉近親の碧血と屍死に蔽はれた旅順の山と海、野と河は、永遠に靈場であらねばならぬ。

されば旅順に遊ぶもの否滿洲に遊ぶものにしてこの戰跡を巡覽し當時を偲び、彼我戰歿者の冥福を禱らさるものなく、旅順訪問の意義は擧げて茲にかゝつてゐるのである。聖地旅順を訪れるには旅大間に汽車とバスが運轉されてゐるが

露光量違いの為重複撮影



バスは南線と北線との二つがある。

◎旅大南道路バス

風光明媚滿洲一を誇る長汀曲浦を縫うて旅順に至る近代マカダム道路は四十七粁八、總工費百三十五萬圓、道路は一路坦々砥の如く其の完璧さは東洋に比を見ないと云はれてゐる。沿道には黒石礁、凌水寺、小平島、蔡大嶺、虎座山、龍王塘、玉の浦、白銀山の八景名所をはらむ乗心持よいバスの窓外の旅趣は盡くる所を知らない。時間は一時間にして達する。

東鷄冠山保壘

◎戰跡視察

旅順は平和の姿其のものであるが、過ぐる日露の役に戰歿せる二萬數千有餘の英靈靜に眠るところ、路傍の一木一草にも涙の歴史が秘められてゐる。聖域來訪者の爲には交通會社營業所は旅順乃木町より高級ハドソン型バスを備へて午前午後の二回に定期運行をしてゐる。

◎白玉山

海拔四百五十尺、背面には白銀山、東鷄冠山、望臺、二龍山、松樹山、高崎山、海鼠山、爾靈山、老鐵山等を圍らし絶好の展望臺であると共に日露戰死者二萬餘の遺骨を祠る納骨堂と乃木、東郷兩將軍の發起に依り建設された表忠塔がある。

◎戰利品陳列館

旅順攻圍當時の軍器、軍服二千五百餘點を蒐

露光量違いの為重複撮影

バスは市内線と北線との二つがある。

◎旅大南道路バス

風光明媚滿洲一を誇る長汀曲浦を縫うて旅順に至る近代マカダム道路は四十七粁八、總工費百三十五萬圓、道路は一路坦々砥の如く其の完璧さは東洋に比を見ないと云はれてゐる。沿道には黒石礁、凌水寺、小平島、蔡大嶺、虎座山、龍王塘、玉の浦、白銀山の八景名所をはらむ乘心持よいバスの窓外の旅趣は盡くる所を知らない。時間は一時間にして達する。

東鷄冠山保壘

◎戰跡視察

旅順には明治卅七八年のものであるが、慘たる日露の役に犠牲せる二萬數千有餘の英靈靜かに眠るところ、路傍の一木一草にも涙の歴史が秘められてゐる。聖域來訪者の爲には交通會社營業所は旅順乃木町より高級ハドソン型又は二十五人乘大型バスを備へて午前午後の二回に定期運行をしてゐる。

◎白玉山

海拔四百五十尺、背面には白銀山、東鷄冠山、望臺、二龍山、松樹山、高崎山、海鼠山、南嶺山、老鐵山等を聞らし絶好の展望臺であると共に日露戰死者二萬餘の遺骨を祠る納骨堂と乃木、東郷兩將軍の發起に依り建設された表忠塔がある。

◎戰利品陳列館

旅順攻圍當時の兵器、軍服二千五百餘點を蒐

め其他砲臺堡壘の模型、會戰の寫眞等が陳列されてゐる、如何に惨劇を極めたものか當時を偲ぶには好個の所である。

◎東鷄冠山

數ある背面防禦堡壘中近代的永久築城の典型砲臺である。三回の總攻撃に辛くも最後の勝利を占むるに至つたものであるが其の間彼我十數尺に對峙し一尺亦一尺實に言語に絶する肉迫戰を演じ、露軍よりの申出に依り吾が戰死者の遺骸を引取り又兩軍の兵士が糧食の交換を行つた等のエピソードもこの砲臺で

水師營會見所

ある山麓數哩に亙る皇軍の辿つた塹壕の址を眺むれば又何人か感慨なきを得ないであらう

◎二〇三高地（爾靈山）

旅順攻圍中最も惨劇を極めた所で肉彈の總攻撃に次ぐ總攻撃を敢行し死山、血河をきづいて明治三十七年十二月五日午後四時遂に全く占領したのである。その碧血と死屍に蔽はれた山頂の今尚雜草も生ひ出ない惨憺たる光景にはそぞろ涙を禁じ得ないものがある。中腹に乃木中尉戰死の碑があり山頂の碧空を抜いて立つ乃木將軍（爾靈山）の碑名と共に萬古にその英靈を傳へてゐる。

◎旅大北線バス（北廻線）

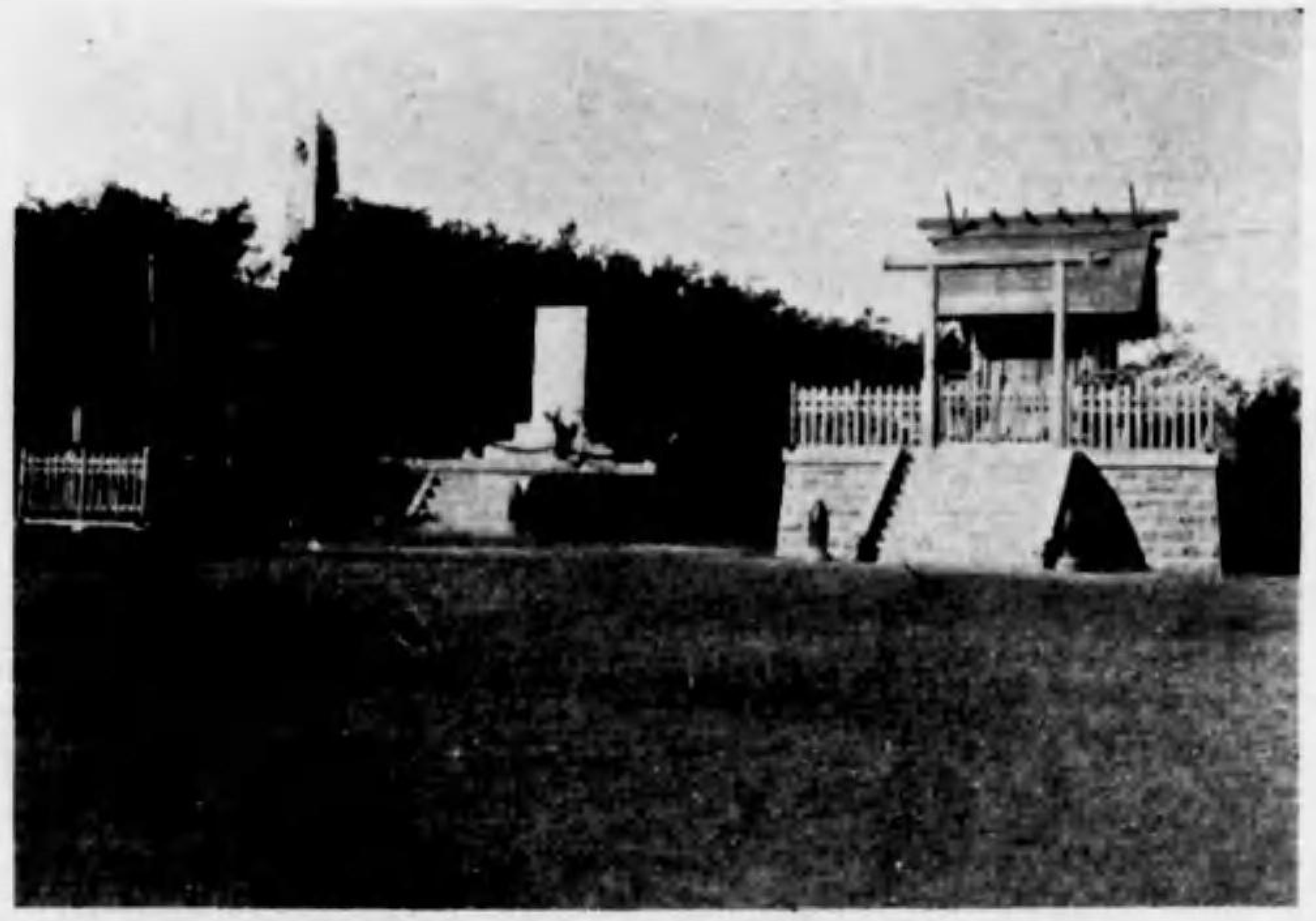
南線がもつ海岸線の女性美に對し雄大な男性的山野の眺望を持ち沿線隨所に古代滿洲の遺跡に富み滿洲色の濃厚な大東溝、牧城驛、營城子、双臺溝、玉仙臺長春庵、水師營、火石嶺の八景を抱いてゐる。

其他

大連から旅順を訪はんとせば往路は表道路を取り復路は裏道路によるを便なりとせむ。交通バス表道路は三十分乃至一時間毎に、裏道路は一日午前午後四回宛往復してゐる。

ロ、金州

大連を去る三十六粁八。又坦々たるマカダム道路。一度バスの客となれば僅に一時間、大和尙山の高峰を右手に眺めつゝ古都金州の城壁を望見し得られる、金州遊覧のコースは大連常盤橋交通會社バス待合所發（午前八時）—南山—響水寺—金州城—三崎山—大連歸着（午後五時）



金州南山

◎南山

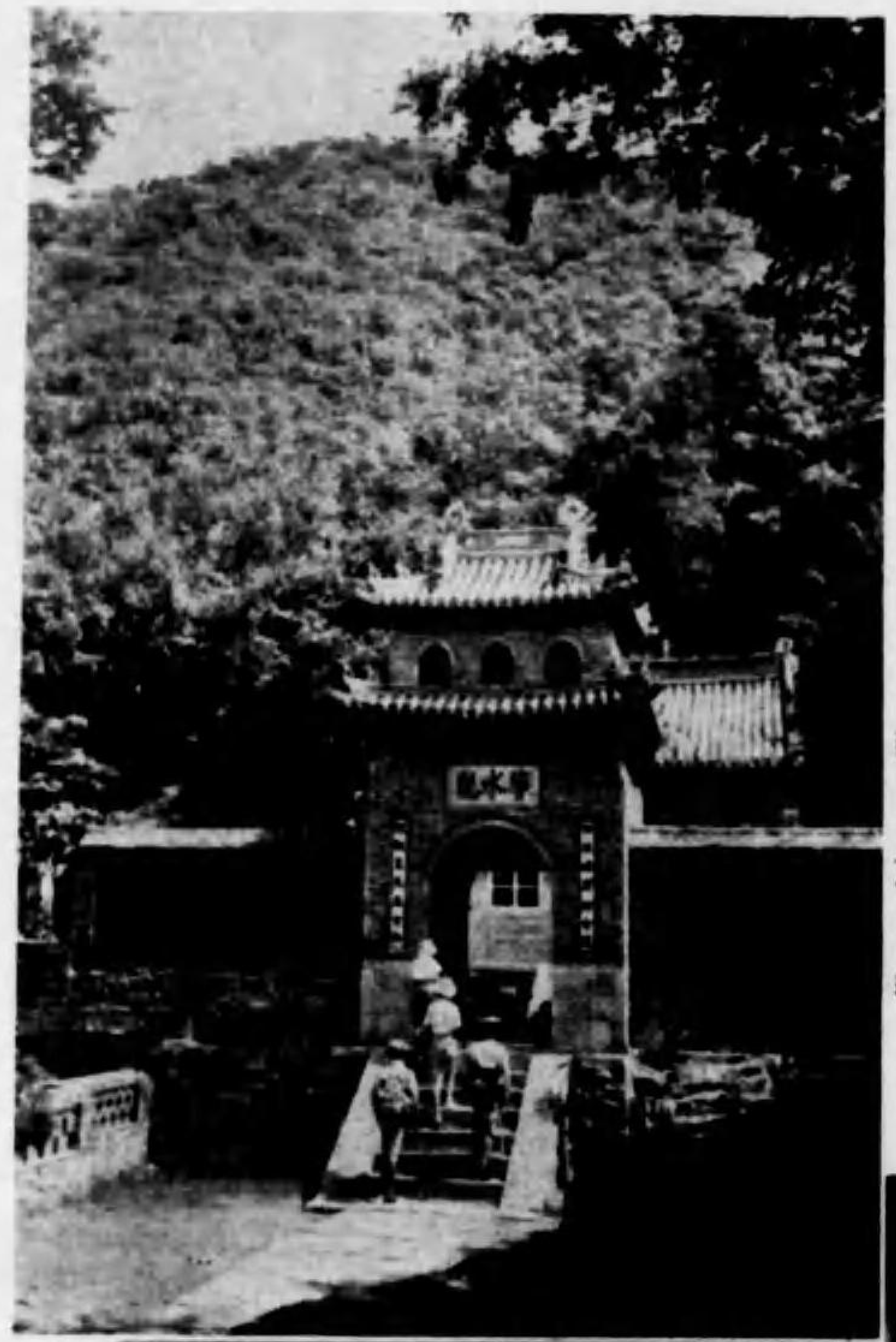
有名な南山戰の戰跡、山頂に戰跡塔、鎭魂碑が聳え山腹には日露戰後金州の支那人が我軍の忠烈に感激して建てた昭忠碑がある。附近一帶は春は櫻の名所ともなり秋ともなれば金州リンゴの産地として知られてゐる

◎響水寺

女媧后を祀る粉飾きらびやかな堂塔の結構は行人の目を奪ふものがある。春は桃杏の花を賞で、秋は紅葉の唐錦盛夏の候又杏樹の蔭に清風を趁うて溪流の響を樂しむに宜敷く四季折々の眺見飽ぬ所である。

◎金州城

霞に煙る春の金州城は平和其のものゝ姿である、時勢の變轉に取殘されたやうに今も尙城内にはクラシックな生活が營まれてゐる。城壁は淸朝時代の築造にかかり城内には「地獄極樂」を以て有名な輪奐の美を極めた天齊廟がある。



響水寺

金州城

天齊廟

地獄極樂

村の嫁入

◎三崎山

櫻の名所を以て知られ日清役の山崎、鐘崎、藤崎の三烈士の名に因んで此の名を呼ばれたもので今も尚忠烈義魂を千載に傳ふる碑がある。

八、普蘭店

金州より四十四、五粁。バスで一時間十分、老樹の双木道を透して見ゆるリンゴ畑の末は有名な關東州鹽の鹽田に續いてオランダ式風車を取入れた景色は又獨自のものがある。こゝは關東州最北の街で然も滿洲國との國境街にあるので稅關の街として知られてゐる。

大連觀光協會案内所

◎大連觀光協會案内所

場　所　大連驛前連鎖街

一、内外觀光に關する一切の御相談

一、旅館、觀樂境、御買物、交通機關等の斡旋と御案内

一、大連、滿洲土産品、物産陳列即賣各種整備、價格正確を旨とす

一、階上に旅客無料休憩所を設く、隨意御使用に供す　手荷物一時預り

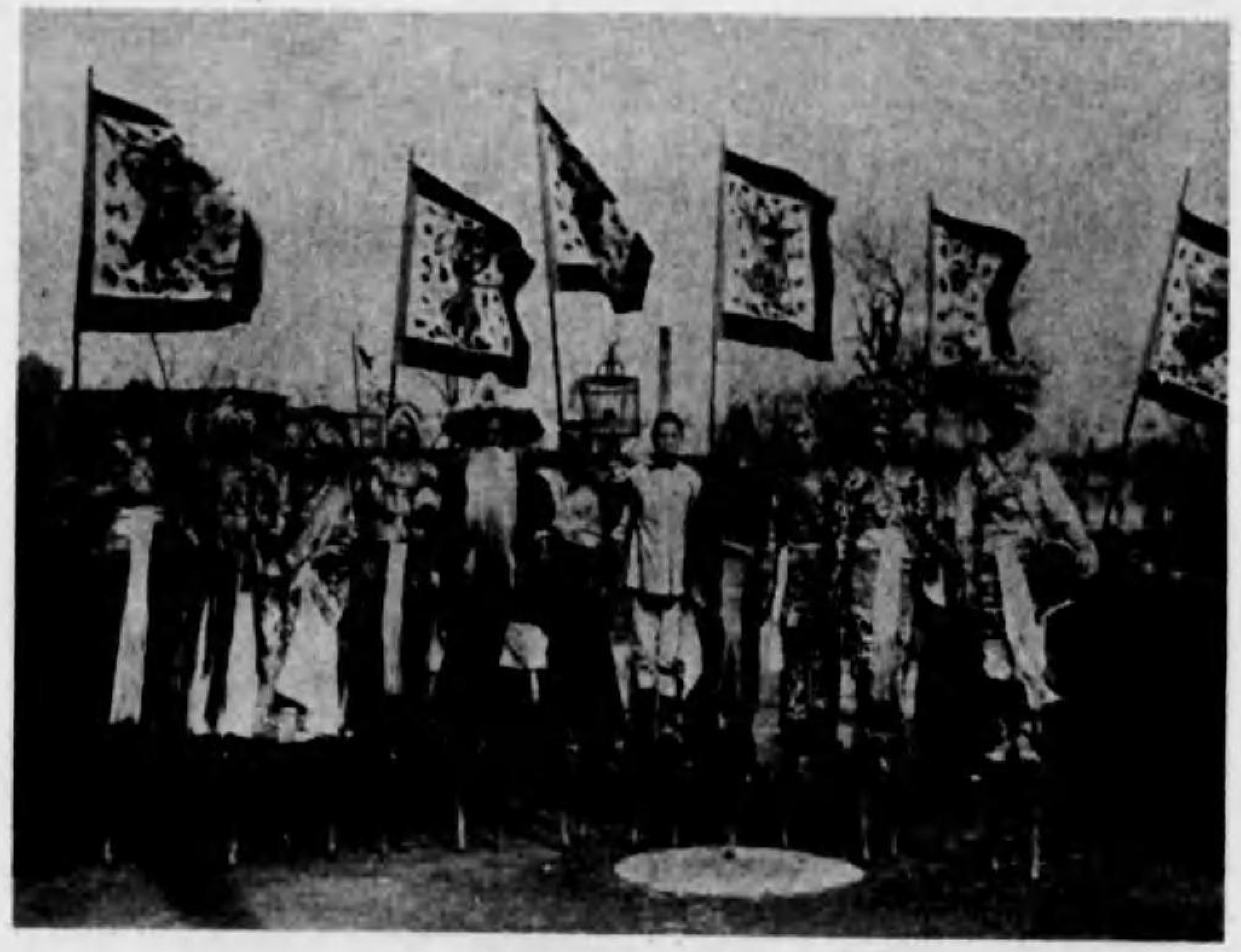
簡易日滿會話

私　我（ウヲ）
君　你（ニイ）
貴方　您（ニン）
彼　他（タ）
誰　誰（シュイ）
本日　今天（チヌ、テイエヌ）
明日　明天（ミン、テイエヌ）
昨日　昨天（ツオ、テン）
朝　早起（ツアオ、チヒ）
晝　晌午（シャン、ホフ）
晩　晩上（ワヌ、シャン）
朝飯　早飯（ツアオ、ファヌ）
夕食　晩飯（ワヌ、ファヌ）
行く　去（チュイ）
來い　來（ライ）
急げ　快々的（コアイコアイ、デ）
ゆつくり　慢々的（マンマン、デ）
一寸待て　等一等（トオン、イ、トン）
知つてる　知道（チイ、タオ）
知らん　不知道（ブ、チイ、タオ）
解る　明白（ミン、パイ）
解らん　不明白（ブ、ミン、パイ）
有難う　謝々（シエ、シエ）
品物　東西（トン、シー）
人力車　洋車（ヤン、チオ）
馬車　馬車（マン、チオ）
汽車　火車（ホフ、チオ）
汽船　輪船（リヌ、チョワヌ）
停車場　火車站（ホフ、チオ、タン）
埠頭　碼頭（マアトウ）
幾何？　多兒錢（トーオル、チエヌ）
有る　有（ユ）
無い　沒有（メイ、ユー）

入る　要（ヤオ）
入らん　不要（ブ、ヤオ）
高い（値段）太貴（ター、クエイ）
好い　好（ハーオ）
買ふ　買（マーイ）
買はん　不買（ブ、マーイ）
滿洲國貨幣　國幣（クオ、ビ）
日本貨幣　金幣（チン、ビヤオ）
滿洲國人　同（マヌ、チョウ、クオレヌ）
日本人　同（リイ、ベン、レヌ）
一（イ）二（アル）三（サヌ）四（スウ）
五（ウウ）六（リユ）
七（チイ）八（パア）九（チウ）
十（シヒ）百（イーパイ）千（イーチエヌ）
一錢　一個子兒（イー、コ、ヅウル）
二錢　兩個子兒（リヤン、コ、ヅウル）
十錢　一毛錢（イ、マオ、チエヌ）
一圓　一塊錢（イー、コアイ、チエヌ）
十圓　十塊錢（シヒ、コアイ、チエヌ）

標示文（掲示…立札）

小心火車（汽車ニ注意スベシ）
小心色油（ペンキ塗立御用心）
不准開放（開放スベカラズ）
官鳴針鐘（ベルヲ鳴ラサレタシ）
閑人免進（無用者入ルベカラズ）
不准手觸物品（品物ニ手ヲ觸ルベカラズ）
私房免進（私室ニ入ルコト御斷リ）
吉房招租（貸家）
禁止吃煙（喫煙ヲ禁ズ）
禮拜歇工（日曜日休業）
君子自重（小便無用）
辦事員外不准進去（係員外入ルベカラズ）
隨手關門（戸ノ開放禁ズ）
禁止赤背（肌ヲ脱グベカラズ）



高脚踊

土産物と税關

税關では旅行必要品以外は課税するのを原則としてゐる。安い、珍らしいで買つたが課税されて高い土產になつた例は澤山ある。旅客の携帶品は左の區分に依り税關の檢査を受けねばならぬ。

(イ) 大連から大阪商船定期船で門司、神戸に向ふ場合(船中で)
此の反對の場合(神戸、又は門司税關で)

(ロ) 大連驛から關東州外に向ふ場合(大連驛で)託送手荷物は大連驛手小荷物檢査所で、携帶品中課税品ある場合は同檢査所に任意申告を必要とする。此の反對の場合(普蘭店以南の列車中で)

(ハ) (1) 安東驛經由の場合(安東驛で)携帶品は車內で、託送手荷物は驛ホーム檢査所に於て
(2) 京圖線經由の場合(圖們驛で)、京圖線及朝開線經由の場合(上三峯驛で)、携帶品は車中で、託送手荷物は驛ホーム檢査所で

滿洲から內地へ行く場合、毛皮、寫眞機、麻雀、雙眼鏡、寶石類等の奢侈品は輸入地市價の十割の輸入税を課せられる。尚骨牌類は本關税の外麻雀は一組に付金三圓、トランプ類は一組に付金五〇錢の骨牌税が課せられる。

左記の煙草は自用と認められたる場合に限り記載數量だけは免税されてゐる、尚煙草は檢査の證印を必ず受けねばならぬ。

煙草 {葉卷 五十本 / 紙卷 百本 / 刻 三十匁} 一人に付何れか一種に限る但し葉卷紙卷兩方の場合は各半量とす

左記は何れも税關吏の認定であるから、之を定量として主張することが出來ないが此の程度ならば先づ免税として許されてゐる。

砂糖、菓子類……合せて十斤迄
ロシヤ飴は……三罐位迄
支那の織物 {綢紬一反 / 紹緞十尺 / 緞子十尺} 一人に付何れか一品に限る
支那素麵……十斤迄
甘栗……七百匁位迄

大連は自由港であるから舶來品は內地より安い筈であるが必ずしもそうではない場合もあるから內地の相場と比較して買求められたい

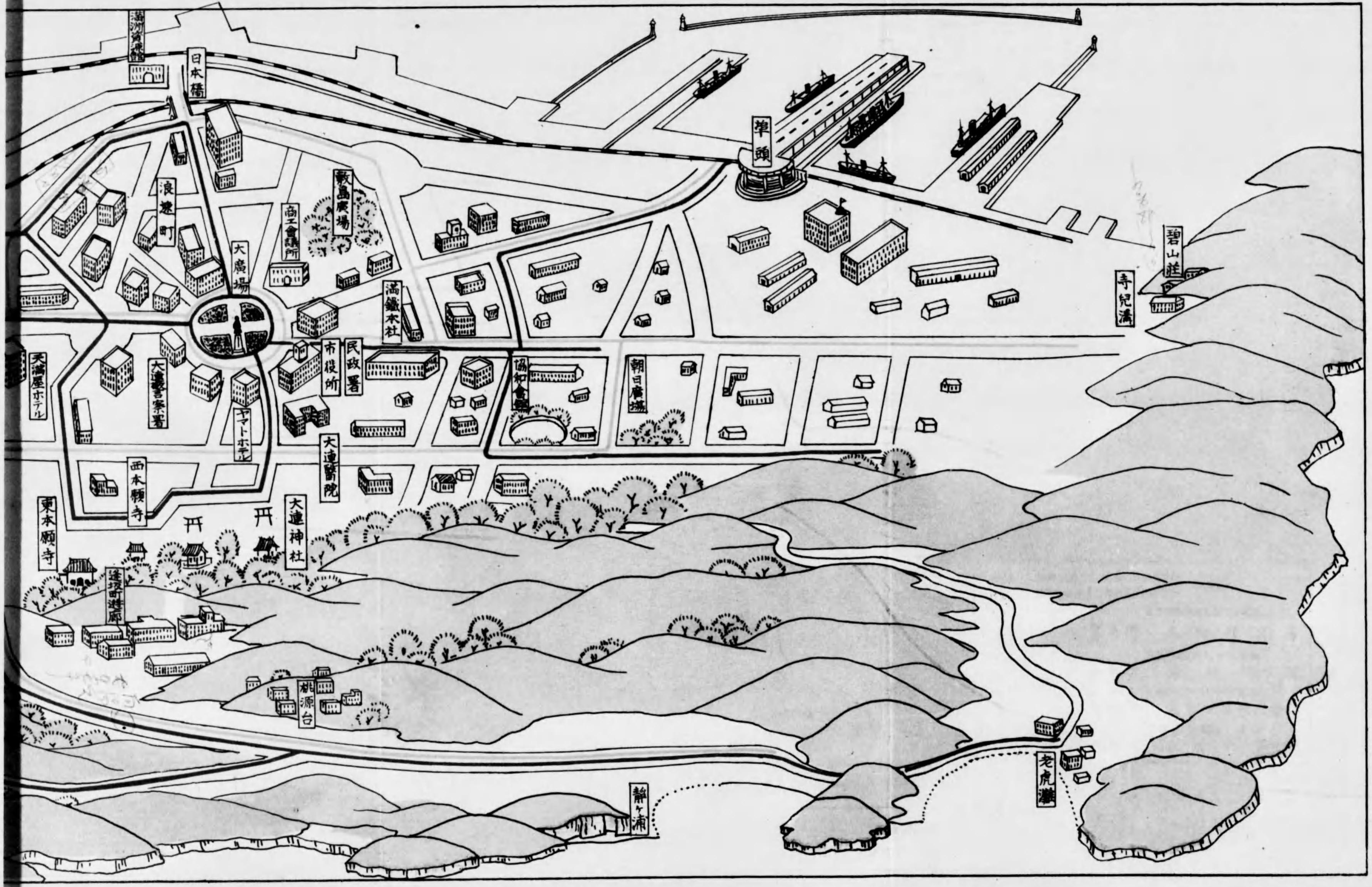
昭和十三年二月大連市主催 土產品懸賞募集入賞品

優良賞

香木人形	滿洲工藝品商會
蓮の實羊羹	土井秀夫商店
リキュー酒チョコレート	オリエンタル貿易商會

佳良賞

高粱シルコ	鈴木製菓店
高粱オコシ	同
高粱糖	花の屋支店
ロシヤ飴	亞斯林洋行
高粱シルコ	同
大理石風鎭文鎭	日華物產商會
ロシヤ飴	オリエンタル貿易商會
板チョコレート	オリエンタル貿易商會
みなとしるこ	みなと屋
布虎	若杉正次
木製戎克	日支公司
ロシヤ飴	孚美公司


滿洲資源館
日本橋
埠頭
敷島廣場
浪速町
商工會議所
大廣場
滿鐵本社
市役所
民政署
協和會館
朝日廣場
碧山莊
寺兒溝
天滿屋ホテル
大連警察署
ヤマトホテル
大連醫院
西本願寺
東本願寺
大連神社
逢坂町遊廓
桃源台
静ヶ浦
老虎灘

大
香爐礁
沙河口駅
沙河口神社
聖徳太子堂
露天市場
西崗子遊廓
西検花街
天后宮
中央卸賣市場
連鎖街
大連觀光協会案内所
大連驛
常盤橋
満洲資源館
日本橋
浪速町
大廣場
商工會議所
市役所
大連警察署
天満屋ホテル
ヤマトホテル
大連醫院
三越
常盤橋市場
交通会社
電業会社
実業グランド
忠霊塔
満倶グランド
電氣遊園
中央試驗所
關東州廳
地方法院
運動場
大正廣場
競馬場
芙蓉町
山の茶屋
石道街
傅家庄
西本願寺
東本願寺
大連神社
逢坂町遊廓
桃源台
電
市

大連市案内圖繪

香爐礁
沙河口神社
沙河口駅
工場
露天市場
西崗子遊廓
西検花街
天后宮
聖德太子堂
地方法院
関東州廳
中央試驗所
電氣遊園
運動場
大正廣場
竜ヶ岡
大連富士
競馬場
芙蓉町
山の茶屋
石道街
星ヶ浦
黒石礁
電車路線
市内バス路線

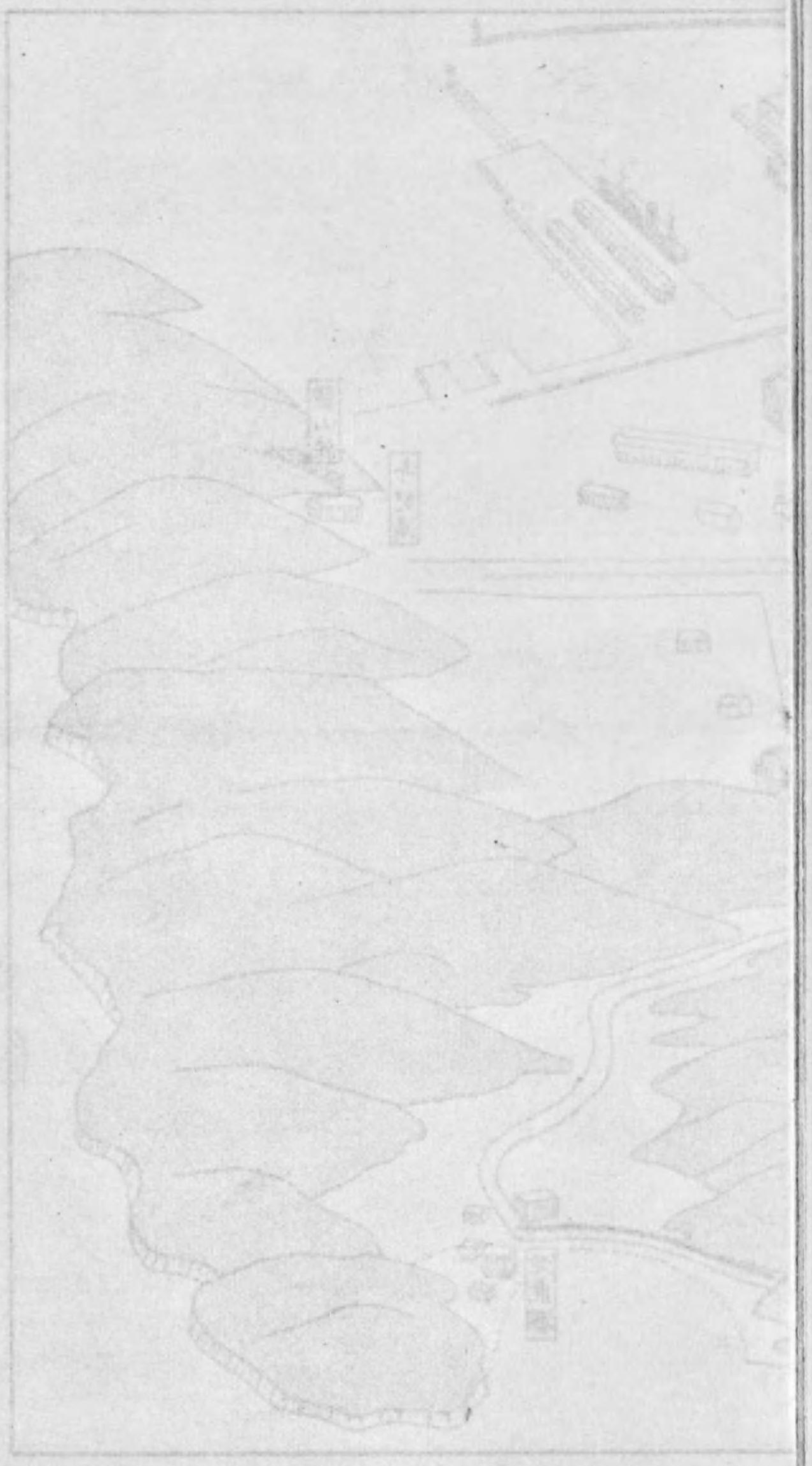
昭和十年十二月廿八日初版發行
昭和十三年十二月十五日四版發行
（非賣品）

大連市薩摩町大連市産業課
著作兼發行人　丸山郁之助

大連市近江町九十一番地
印刷人　山田浩通

大連市近江町九十一番地
印刷所　東亞印刷株式會社

大連市薩摩町一番地
發行所　大連市役所



終